

# Rapport

2023  
Number

121

多摩大学 | 広 報 誌 |

## Vol.121 Contents

令和4(2022)年度秋学期 褒賞者 .....	02-03
令和5(2023)年度 多摩大学入学式 .....	04
〈グローバルスタディーズ学部〉	
新任教員紹介 .....	05
台湾研修実施 .....	05
教育交流協定 羽村高校の授業支援を実施 .....	05
【キャリアサポート】2022年度 就職状況 .....	06
令和4(2022)年度 田村学園概要 .....	06
〈経営情報学部〉	
新学部長就任メッセージ .....	07
新カリキュラム始動 .....	07
2023年度「マチカドこども大学」開校式 .....	08
樋笠専任講師が出版記念トーク開催 .....	08
中村その子ゼミに感謝状贈呈 .....	08
彩藤ひろみゼミに感謝状贈呈 .....	08
スクールバス乗り場に屋根を設置 .....	08

# 令和 4 (2022) 年度秋学期 褒賞者

## 経営情報学部

### 【2022 年度 秋学期 優秀学生賞】

① 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生

② 学業に対する取組が真摯で他の模範となる者

◎印は、選出理由

科目名	◎	学生氏名
アジア経済論Ⅱ	①	関根 瑠星
アジア経済論Ⅱ	①	農端 大和
アドバンスド・ライティング・スキル	①	佐川 航太
IT コミュニケーション入門	①	大林 愛礼
IT コミュニケーション入門	①	亀田 立
IT コミュニケーション入門	①	半田 涼介
IT ビジネス入門	①	露木 亮輔
IT ビジネス入門	①	手塚 琉久
English Expression Ⅱ	①	上杉 恭介
English Expression Ⅱ	①	大内 一輝
English Expression Ⅱ	①	遠藤 颯馬
English Expression Ⅱ	②	児島 涼音
English Expression Ⅱ	①	齋藤 鼓子
Web サービス開発	①	小林 明日香
Web デザインⅡ	①	西出 琉人
NPO・NGO 論	①	齊藤 夏美
NPO・NGO 論	①	杉山 慶恵
韓国経済論	①	天野 由梨
韓国語Ⅱ	①	高梨 志龍
韓国語Ⅱ	①	竹中 海翔
韓国語Ⅱ	①	若林 駿希
キャリア・デザインⅡ	①	新井 健太
キャリア・デザインⅡ	①	坂根 怜司
キャリア・デザインⅡ	①	井上 保奈海
キャリア・デザインⅡ	①	長谷川 司
キャリア・デザイン入門	①	高橋 あんり
キャリア・デザイン入門	①	柳澤 孝彰
教育相談	①	青木 隼
金融論	①	新井 健太
金融論	①	馬場 啓介
クリエイティブデザインⅡ	①	清水 千伶那
クリエイティブデザインⅡ	②	濱 大貴
クリエイティブデザインⅢ	①	中堤 真
クリエイティブデザインⅢ	①	米澤 珠巳
グローバルビジネス入門	①	荒川 陸人
グローバルビジネス入門	①	高橋 和磨
グローバルヒストリーⅡ	①	大岡 千咲
グローバルヒストリーⅡ	①	木下 明音
経営科学	①	草刈 三結
経営科学	①	柴田 優吾
経営思想史	①	塚本 光
経営シミュレーションゲーム	①	伊藤 真之介
経営情報論Ⅱ	①	新井 健太
経営情報論Ⅱ	①	林 宏昌
経営とセキュリティ	②	吉田 武司
経営分析	①	新井 健太
経営分析	①	佐藤 哲大
原価計算	②	佐藤 哲大
原価計算	①	ヨウ リュウチン
コンピュータ概論	①	飯島 颯悟
コンピュータ概論	①	大林 愛礼
財務会計	①	ヨウ リュウチン
産業社会特講 (企業を取り巻く環境の変化)	①	降矢 悠太
産業社会特講 (脅威と共栄の中国~変るビジネス環境)	①	新井 健太
産業社会特講 (脅威と共栄の中国~変るビジネス環境)	①	落合 俊介
産業社会特講 (脅威と共栄の中国~変るビジネス環境)	①	佐川 航太
産業社会特講 (脅威と共栄の中国~変るビジネス環境)	①	櫻井 宏樹
産業社会特講 (脅威と共栄の中国~変るビジネス環境)	②	佐藤 哲大
産業社会特講 (脅威と共栄の中国~変るビジネス環境)	①	チョウ ゲンメイ
産業社会特講 (コロナ後の働き方改革)	①	鈴木 拓海
事業構想論Ⅱ	①	青山 優衣
事業構想論Ⅱ	①	齊藤 夏美
事業構想論Ⅱ	①	降矢 悠太
事業デザイン論Ⅱ	②	伊藤 将吾
社会心理	①	田中 湖雪
情報工学概論	①	馬場 啓介
情報ネットワーク	②	吉田 武司

科目名	◎	学生氏名
情報倫理	①	柴田 優吾
情報倫理	①	原島 直輝
初級簿記	①	大林 愛礼
初級簿記	①	齊藤 夏美
スポーツⅠ	①	公保 綾太
スポーツⅠ	①	古館 幸真
スポーツⅠ	①	西村 夢華
スポーツⅠ	①	森谷 寅太
スポーツ・マネジメント論	①	伊藤 勇輝
スポーツ・マネジメント論	①	澤田 健太
スポーツ・マネジメント論	①	谷 亜由美
多摩学Ⅱ	①	野上 隆之介
地域スポーツ論	②	柳 りこ
地域ビジネス入門	①	大内 一輝
中国語Ⅱ	①	岩間 大地
中国語Ⅱ	②	佐藤 哲大
中国ビジネスコミュニケーションⅡ	①	武井 夕佳
中国ビジネスコミュニケーションⅡ	②	田中 千尋
データサイエンスⅡ	②	草刈 三結
データベースⅡ	①	小泉 翔太
データベースⅡ	①	信田 修吾
デザイン思考	①	西井 菜々穂
TOEICⅡ	①	馬場 啓介
特別講座Ⅱ	①	新井 健太
日本語講座中級Ⅱ	①	オウ エキキ
日本語講座中級Ⅱ	②	パルマグナイアヌジン
日本語講座上級	②	オン チョウサン
日本語講座上級	②	チン ウヨウ
ビジネス数学Ⅱ	①	片柳 友華
ビジネススキル入門	①	兼田 遥人
ビジネススキル入門	②	清水 咲希
ビジネススキル入門	①	須崎 海玖亜
ビジネススキル入門	①	高橋 和磨
ビジネススキル入門	①	高橋 奈央
ビジネススキル入門	①	竹中 海翔
ビジネススキル入門	①	田端 恭輔
ビジネススキル入門	①	福島 花音
ビジネス法	①	呉 旭
ビジネス法	①	齊藤 夏美
ビジネス法	①	鈴木 雄登
ビジネス法	①	田中 温人
ビッグデータ活用法	①	西潟 沙世
プレゼミⅡ	②	安藤 麻沙未
プレゼミⅡ	②	石橋 佳奈
プレゼミⅡ	②	小嶺 翼
プレゼミⅡ	②	佐藤 哲大
プレゼミⅡ	②	高井 駿
プレゼミⅡ	②	藤原 由翔
プレゼミⅡ	②	堀込 元陽
プレゼミⅡ	②	横田 晃大
ベンチャー企業論	①	武井 夕佳
法学 (憲法)	①	齊藤 夏美
マーケティング・データ分析	①	大谷 奨
マーケティング・データ分析	①	柴田 優吾
マーケティングマネジメント論	①	大石 真士
マーケティングマネジメント論	①	高橋 奈央
マクロ経済学	①	板垣 大地
マクロ経済学	①	常松 愛
余暇マネジメント	①	荒川 陸人
余暇マネジメント	①	大内 一輝
余暇マネジメント	①	田中 湖雪
ライティング・スキル	①	兼田 遥人
ライティング・スキル	②	コエル ミゾラ
ライティング・スキル	①	辰木 颯子
ロシア経済論	①	堀井 瞳来
ロシア経済論	①	山田 ゆい

※科目名 50 音順

**【2022年度 最優秀学生賞】** 大学在学中4年間を通じて総合的に最も優秀な成績を収めた者及び本学学生として模範的行為のあった者

内田 慎吾	小林 明日香	佐々木 秀崇	富高 日向子	能嶋 昭登	濱 大貴	茂木 香樹	※氏名 50音順
-------	--------	--------	--------	-------	------	-------	----------

**【2022年度 社会・研究活動賞】**

① 課外活動で顕著な成績をおさめた者または団体 ② 研究活動で顕著な成績をおさめた者または団体 ◎印は、選出理由

学生氏名・団体名	◎	内 容
多摩祭実行委員会	①	2022年度多摩祭を成功裡に導いた
多摩大学体育会フットサル部	①	全日本大学フットサル大会3位
多摩大学体育会スキー部 富高 日向子	①	FISワールドカップ2022-2023出場
長田 華山	①	体調不良となった近隣住民の介抱と救急および学生課保健室への迅速な報告
堀込 元陽	①	高大連携A知探Qにおいて講師を務めた
遠山 暖・高山 春奈・福生 桃子・松永 真ノ助	①	体調不良学生の介抱と学生課保健室への迅速な報告
出原至道ゼミ (ハンドソード)	②	Interverse Virtual Reality Challengeにおいて、書類審査を通過しSeed Stageに進出
出原至道ゼミ (LV2022)	②	Laval VirtualのReVolution Students Demo部門で、出展審査を通過し5日間の展示
梅澤佳子ゼミ	②	大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」の採択を受け(7年継続)、コロナ禍でも高齢者サロン(オンライン・対面)と月1回の通信発行を継続
2021 プレゼミ Y12 (日除け柵企画班)	②	学生バスの待ち列に日除け柵を設置すべく企画書を提出
彩藤ひろみゼミ (バーチャル高尾山プロジェクト)	②	大学コンソーシアム八王子の令和4年度学生企画事業補助金交付【指定課題部門】で補助金を獲得
古性 采樹	②	静岡県庁業務委託および府中市助成金獲得
佐藤 駿	②	ボランティアコーナー、八王子市地域づくり会議等への参画
田中 千尋	②	2022年度インターゼミ多摩学班リーダー
濱 大貴	②	昭島市産業フェアバーチャル会場の作成

**【2022年度 学長賞・学部長賞】**

**学長賞:** 多摩大学体育会スキー部 富高 日向子、多摩大学体育会フットサル部

**学部長賞:** 梅澤ゼミ「外部資金獲得で継続的な地域貢献活動の実施」、彩藤ゼミ「大学コンソーシアム八王子の学生企画事業補助金獲得」、出原ゼミ「Laval Virtual 出展」

**2022年度秋学期 成績優秀者奨学金奨学生**

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

●経営情報学部

■ 1年次

・区分1

学生氏名
大岡 千咲

・区分2

学生氏名
板垣 大地
上杉 恭介
オウ エキキ
大石 真士
大内 一輝
大林 愛礼
木下 明音
今野 凜々
齋藤 鼓子
下鉢 知彬
鈴木 綾菜
高橋 あんり
高橋 和磨
高橋 奈央
竹中 海翔
田中 優菜
田端 恭輔
長谷 綾音
柳澤 孝彰

■ 2年次

・区分2

学生氏名
青山 優衣
新井 健太
伊藤 真之介
井上 保奈海
大谷 奨
勝山 義史
河輪 拓樹
草刈 三結
公保 綾太
齊藤 夏美
佐川 航太
柴田 優吾
チョウゲンメイ
中澤 彩花
中堤 真
西出 琉人
降矢 悠太
保坂 優斗
ヨウリュウチン

■ 3年次

・区分1

学生氏名
馬場 啓介

・区分2

学生氏名
天野 真一朗
天野 由梨
伊藤 将吾
近藤 海優
佐藤 梨花華
田中 湖雪
田中 温人
中川 皓太
長田 華山
中台 葵
西潟 沙世
野中 柊希
農端 大和
東良 紗里
藤森 龍
堀井 瞳来
山田 ゆい
米澤 珠巳
柳萬 真伸

●グローバルスタディーズ学部

■ 1年次

・区分1

学生氏名
大澤 依吹

・区分2

学生氏名
アンドレアセンキラリダ
尾崎 菜瑠実
久保寺 もも
重田 智輝
庄司 康生
田所 花怜
樋園 隼一
谷田部 まい子
山口 菜々

■ 2年次

・区分1

学生氏名
高田 晴高

・区分2

学生氏名
小瀧 倫之
片山 美紅
川口 真依
工藤 祥太
倉島 舞
佐久田 大輝
四野見 雄大
三輪 春音
渡邊 菜花

■ 3年次

・区分1

学生氏名
佐野 磨李

・区分2

学生氏名
石川 音和
大高 恵梨佳
岡崎 優斗
佐々木 悠舞
佐藤 祐紀
澤田 彩花
島田 彩音
神保 麻里亜
福岡 新生

※氏名 50音順

※学年は2022年度のものとなります

## 「4年間の大学生活で、人生の基盤となる力を身につけてほしい」

2023年4月5日(水)、パルテノン多摩 大ホールにて「2023年度多摩大学入学式」を挙行了しました。今年度の新生は、経営情報学部(SMIS)327名、グローバルスタディーズ学部(SGS)106名、計433名です。

寺島実郎学長は、「大学生活の4年間は社会人として社会に出ていくための準備期間であり、また人間としての基盤をつくる重要な時間でもある。自分はいったいどう生きるのか自問自答しながらじっくりと過ごしてほしい。100歳人生といわれる時代の中で、自分の納得のいく人生を送るためには、大学生の頃からじっくりと時間をかけて成熟していくことが必要である。大人になるとは自分を客観的にみられるようになること。そして大人として世の中に認めてもらうための条件は、経済的な自立と社会的貢献です。どんなに人工知能が発達しても、人間は自分の幸福だけでなく、他人の痛みを共感できる情愛を大切にしなければならない。人間の尊厳とは何かを考えながら、自分の人生の基盤となる力を身につけてください。歴史認識、時代認識をしっかりとち、自分の頭で考え行動できる人間、世の中に出て生身で勝負できる人間になってもらいたい。がんばってください」と新生を祝福しました。

学校法人田村学園 田村嘉浩理事長は、「現代の志塾である多摩大学で自分の志を獲得し、皆さんがその志をしっかりと社会で実現できる人間として成長してほしい。大学生活が実りあるものとなるよう私からアドバイスを二つします。一つ目は何ごとについても、とことん自分の頭で考え抜く習慣を身につけること。二つ目は今日できることを明日に延ばさないでほしいということです。悔いのない4年間をしっかりとやり切ってもらいたい。大切なのは自分自身を信頼すること、目いっぱいやり切ることです。過去は変えられないが、未来はいくらでも変えられるという思いをもってほしいのです。4年後、皆さんが高い志をもって活躍できる人間として巣立っていくことを心より祈っています。4年間が夢と希望にあふれた輝けるものとなるよう願っています」とエールを送りました。

続いて来賓として登壇された阿部裕行 多摩市長は、「皆さんには歴史、社会がどのように構成されているか、なぜそうなるのか、今世界はどのように動いているのかを考えてほしい。大切なことは、何が正しく何が誤っているのかを自分で体験し、考えて判断することです。この4年間、自分に向き合い、わからないことがあれば徹底的に調べ、何が正解か見つけだしてください。ぜひ地元である多摩市、藤沢市をもっと知り、この地で青春を謳歌してください」、多摩信用金庫 八木敏郎理事長は、「多摩大学と多摩信用金庫は包括連携協定を締結し、地域における連携を深めています。思い通りにいかないとき、困難や失敗に躓くこともあるかもしれませんが。謙虚に素直で正しく積極的にいろいろなことを学び体験してほしいと思います。大学時代は人生で最も大切な時間です。日々なすべきことを知り、自身の成長を実感できる充実した大学生活を送られますことをお祈りします」と祝辞を述べました。

また、新生代表の経営情報学部すまびやしかいの杉林海真さんは、北海道の高校在学中に多数の資格取得や検定に合格。高校3年間はサッカー部に所属し、夏はグランドサッカー、冬は室内でフットサルに取り組みました。グローバルスタディーズ学部かわいみなみの川合愛海さんは、神奈川県かわいみなみの高校在学中に国際交流委員として多くの国際交流イベントを企画し、校内の国際化に寄与しました。将来は英語の教員になることを志しています。「感謝の気持ちと感動を忘れることなく大学4年間を悔いなく有意義に過ごし、恩返しをしていきたい」とそれぞれ大学生活への抱負と期待を述べました。学園歌は着席のまま静聴し、壇上者の退場後、閉式となりました。

式終了後、経営情報学部は大ホール、グローバルスタディーズ学部は小ホールにて、保証人向け説明会を行いました。保証人の皆様には、学部長挨拶と教員紹介、学生生活、教育方針と授業、就職状況と就職支援体制、留学などについて説明しました。



パルテノン多摩(大ホール)で行われた式典の様子



寺島実郎学長



田村嘉浩理事長



SMIS 新生代表による挨拶



SGS 新生代表による挨拶



経営情報学部 保証人向け説明会



グローバルスタディーズ学部 保証人向け説明会

## 〈新任教員紹介〉

### ホスピタリティを磨き自分を活かす

私の専門は、ホスピタリティ・マネジメントです。航空会社での勤務に加え、飲食店の開業・経営などサービス業での実務経験が持ち味です。サービスは、提供者と受容者が価値を共創する行為であり、互いの環境が変化する中で行われます。そのためには、ホスピタリティ（人間力・共感力）が必要です。授業では、ホスピタリティとは何か、どのように有用なのかを理論と社会での実践例をつなぎ合わせて学修いただきます。知識の獲得に留まらず、ホスピタリティを実現する「感じ・考え・行動する」能力の開発を行います。ホスピタリティ産業で活躍する人材の育成はもとより、社会で自身の力を活かすための力を養うことを目指して努めていく所存です。

## 今村 康子

(イマムラヤスコ)

准教授

〈プロフィール〉

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科修士課程修了 修士（システムデザイン・マネジメント学）。全日本空輸株式会社 客室乗務員として勤務、国際線を中心に乗務。同社マーケティング室商品企画部及び、本社商品戦略室で新国内・国際線機内サービスを導入。株式会社ANA 総合研究所研究員として、多摩大学、東海大学、大東文化大学、放送大学等での講師を経て、2023年4月より現職。



## 高校生、本学生、卒業生、教職員による合同台湾研修実施

2023年3月24日(金)～3月29日(水)、5泊6日の日程で藤沢翔陵高等学校(生徒11名、教員3名)と多摩大学グローバルスタディーズ学部(学生9名、卒業生2名、教職員3名)計28名が、合同台湾研修を実施いたしました。

本学部の卒業生である菅原日向さん(令5卒)、高橋征宏さん(令5卒)には、ティーチングアシスタントとして参加いただき、様々なアドバイスをいただきました。会場である東呉大学(Soochow University)では、本学部生9名が3名一組となり、「3年ぶりの海外研修」、「コロナ1期生として」、「今後、生活がどう変わるか」をテーマにプレゼンテーションを行いました。藤沢翔陵高等学校の生徒の皆さんは英語で発表を行いました。参加者は「ありがとう」と記された特別なマスクを着用しました。これは日本と台湾の友情・友好を表すデザインとなっており、台湾から日本への3.11東日本大震災復興への寄付金、日本から台湾への新型コロナウイルスワクチンの提供など、相互でのお礼と友好の意味が表されたものです。

東呉大学での英語プレゼンテーション以外に総統府、故宮博物院、中正紀念堂、龍山寺、千と千尋の神隠しのモデルとなった都市として有名な九份、JTB台湾を表敬訪問し、海外で働く夢を持った学生にとっては貴重な学びの場となりました。さらに日系企業の株式会社横浜八景島が運営するX Park水族館を訪問するなど台湾の文化および日本との関係について学びました。

今回の研修では台湾の学生、高校生などとの交流が活発に行われました。これを機に、この友情が今後に繋がることを期待しています。

### ●台湾研修に参加したグローバルスタディーズ学部生(学年は2022年度のものとなります)

「3年ぶりの海外研修」片山美紅さん(2年生)、小田切希果さん(2年生)、佐藤彩里さん(2年生)

「コロナ1期生として」清本菜祐さん(3年生)、馬場万理奈さん(3年生)、小林菜々香さん(3年生)

「今後、生活がどう変わるか」高橋紅冴さん(3年生)、村上紗映さん(1年生)、石田原千咲さん(1年生)

ティーチングアシスタント担当: 菅原日向さん、高橋征宏さん(2023年3月卒業)



SGS生によるプレゼンテーション

集合写真

## 教育交流協定 羽村高校の授業支援を実施

2023年5月17日(水)、多摩大学と羽村高校による教育交流協定に基づき、経営情報学部の学生7名が東京都立羽村高等学校の「探究学習」(総合的な探究の時間)の授業支援を行いました。

探究学習は、羽村高校の2学年(7クラス)を対象にした、調査・資料作成・プレゼンテーションについて学ぶことを目的とした授業です。授業では「羽村市の強みを活かした社会課題の解決」をテーマに行われ、本学の学生は、2024年2月までに6回の授業に参加して高校生に対して「地域経済分析システム RESAS」を活用した調査方法、学習への協力・助言を行う予定です。初回は、各学生から調べ学習の方法やプレゼンテーションにおける大切なことについて、自身の経験を踏まえた学生生活など自己紹介を兼ねた説明をプレゼンテーション形式で行いました。授業後の振り返りでは、高校生への声かけや質問に対する回答の難しさなどの反省点を挙げたり、授業支援を経験したことで高校や大学の先生方の気持ちが理解できたとの感想がありました。また、羽村高校の先生方へ探究計画書の工夫や授業準備についての提案を行いました。



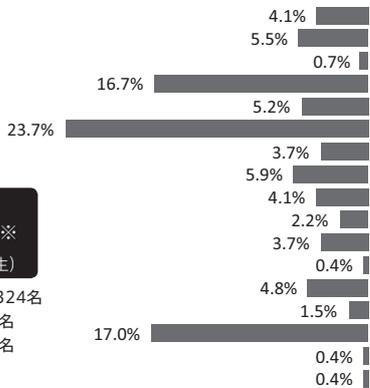
# キャリアサポート

多摩大学キャリア支援課では、学生一人一人にきめ細やかなサポートを行っています。経営情報学部ではゼミ担当教員とキャリア支援課職員が常に情報を共有しながら、各学生の個性に合った指導をしています。定期的に就職に関するセミナーを開催し、ご家族にも就職活動へのご理解をいただくことで、就職活動に取り組みやすい環境を整えています。また、グローバルスタディーズ学部では、就職委員会とキャリア支援課が連携し少人数制の特性を生かした就職支援を行っています。正課インターンシップ等の低学年次からのキャリア科目を通じ早期の就業観、労働観の醸成を図り、3年次以降は就職活動本番を見据えたキャリア支援講座等の充実したプログラムによる支援に繋げ、学生をサポートします。

## 2022年度 就職状況

※2023年5月1日現在

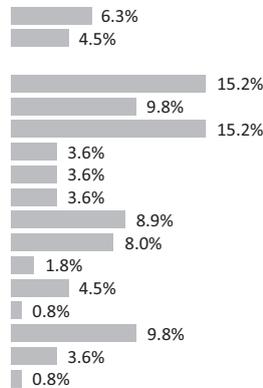
### 経営情報学部



### 【業界別内訳】

- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療、福祉
- 複合サービス事業
- サービス業(他に分類されないもの)
- 公務(他に分類されるものを除く)
- 分類不可能の産業

### グローバルスタディーズ学部



※就職決定者/  
就職希望者 (%)

就職決定率

**98.2%** ※

(2022年度卒業生)

卒業生、学位授与者: 324名  
就職希望者: 275名  
就職決定者: 270名

就職決定率

**97.4%** ※

(2022年度卒業生)

卒業生、学位授与者: 134名  
就職希望者: 115名  
就職決定者: 112名

### 【主な就職先】 (50音順)

〈経営情報学部〉 ㈱アマダ、愛媛信用金庫、青梅信用金庫、岡谷エレクトロニクス㈱、㈱クラウンパッケージ、京西テクノス㈱、さがみ農業協同組合、相模原市農業協同組合、㈱スウェーデンハウス、西濃運輸㈱、セコム㈱、㈱セブンイレブン・ジャパン、多摩信用金庫、㈱東計電算、トヨタエルアンドエフ東京㈱、ヒルトン横浜、福山通運㈱、ブルーチップ㈱、㈱ヤナセ、㈱横浜シーサイドライン、横浜市役所、横浜信用金庫、渡辺パイプ㈱、㈱CSS 技術開発、㈱JTB  
〈グローバルスタディーズ学部〉 ㈱アイネット、㈱AOKI ホールディングス、㈱アキュラホーム、㈱アサンテ、㈱伊藤園、ANA エアポートサービス㈱、ANA 成田エアポートサービス㈱、NEC フィールドディング㈱、㈱NFC ホールディングス、㈱イービーシー・マート、㈱王将フードサービス、神奈川県教育委員会、京王観光㈱、コストコホールセールジャパン㈱、さがみ農業協同組合、佐川急便㈱、㈱システナ、㈱ジャックス、大成建設㈱、東京マツダ販売㈱、㈱トヨタレンタリース神奈川、トヨタL&F神奈川㈱、ハイランドリゾート㈱、羽田空港サービス㈱、ピー・エム・ダブリュ・ジャパン・ファイナンス㈱、富士ソフト㈱、㈱富士急ハイランド、㈱船井総合研究所、㈱ホテル小田急、㈱ホテルオークラ東京、三井情報㈱、学校法人緑ヶ丘学院、油研工業㈱、㈱ワイイーシーソリューションズ

## 令和4(2022)年度 学校法人田村学園概要

多摩大学の経営母体である学校法人田村学園は、私立学校として積極的に情報開示をしております。最新の田村学園概要は、以下のとおりです。

(学校法人 田村学園 貸借対照表)

### 貸借対照表

令和5年3月31日 (令和4年度)

(単位: 百万円)

資産の部	前年度末	本年度末	増減
科目			
固定資産	24,544	25,241	697
有形固定資産	20,356	20,355	△1
土地	12,996	12,996	0
建物	6,242	6,052	△190
その他	1,118	1,307	189
特定資産	2,392	2,492	100
第2号基本金引当特定資産	2,300	2,400	100
第3号基本金引当特定資産	92	92	0
その他の固定資産	1,796	2,394	598
電話加入権	5	5	0
その他	1,791	2,389	598
流動資産	5,874	5,237	△637
現金預金	5,605	4,958	△647
その他	269	279	10
資産の部合計	30,418	30,478	60
負債の部			
科目			
固定負債	487	517	30
長期借入金	1	1	0
退職給与引当金	486	516	30
流動負債	1,603	1,251	△352
短期借入金	1	1	0
前受金	930	717	△213
その他	672	533	△139
負債の部合計	2,090	1,768	△322
純資産の部			
科目			
基本金	34,410	34,786	376
第1号基本金	31,666	31,942	276
第2号基本金	2,300	2,400	100
第3号基本金	92	92	0
第4号基本金	352	352	0
繰越収支差額	△6,082	△6,076	6
翌年度繰越収支差額	△6,082	△6,076	6
純資産の部合計	28,328	28,710	382
負債及び純資産の部合計	30,418	30,478	60

(令和4(2022)年度 学校法人 田村学園 計算書類 抜粋)

### 【資金収支】

(資金収入) (単位: 百万円)

学生生徒等納付金収入	3,895
手数料収入	75
寄付金収入	65
補助金収入	1,294
資産売却収入	51
付随事業・収益事業収入	187
受取利息・配当金収入	53
雑収入	127
その他	△283
前年度繰越支払資金	5,605
合計	11,069

### 【資金支出】

(資金支出) (単位: 百万円)

人件費支出	3,089
教育研究経費支出	1,247
管理経費支出	498
借入金等利息支出	0
施設関係支出	238
設備関係支出	183
その他	856
翌年度繰越支払資金	4,958
合計	11,069

(令和4(2022)年度)

・学生・生徒等(人)

田村学園全体	4,549
多摩大学 学部	
経営情報学部	1,446
グローバルスタディーズ学部	592
多摩大学 大学院	127
高校(2)・中学(2)・幼稚園(3)	2,384

・キャンパス面積 (㎡)

田村学園全体	115,932
多摩大学	44,913
その他	77,019

以上、令和5(2023)年5月1日 現在

〈経営情報学部〉

小林 英夫 教授 新学部長 就任メッセージ



経営情報学部  
新学部長・教授 小林 英夫

2023年4月、経営情報学部学部長に小林 英夫 教授が新たに就任いたしました。

【新学部長挨拶】

この4月に経営情報学部の学部長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

私は、2013年に多摩大学の教員になる前は、26年間ビジネスの世界に身を置いておりました。日本IBMで金融機関担当SEとしてキャリアをスタートし、MBA取得を経て、通信ベンチャーのイー・アクセス創業に参画、同社の東証マザーズおよび東証一部上場に関わりました。その後、携帯子会社イー・モバイル（現ソフトバンク・ワイモバイル事業）の創業も手掛け、イー・アクセスとイー・モバイルの副社長を務めました。教鞭を執りながら学び続け、2016年に経営学の博士号を取得しております。

私は、この経験から、大学での学びの意義を強く感じています。学生時代の学友は今も大切な仲間として交流が続いており、大学院での学びはキャリア転機を支え人生を切り拓く武器となりました。この想いをもって、学部生の皆さんが青春時代の貴重な時期を有意義に過ごせるよう導くとともに、卒業生の皆さんに対しても人生を通じて学び続けることの助として大学・大学院を折に触れ活用できるようにしていきたいと考えています。

経営情報学部は、「経営」と「情報」を複合的に学ぶ学部です。本学部は、1989年の開学時、情報化社会の到来を見据え、単なる「経営学部」ではなく取って「経営情報学部」として発足しました。その後、IT革命、ブロードバンド革命、DXの到来と並走し、現在はデータ・サイエンスや人工知能のビジネスへの活用を見据えた教育を展開しています。グローバル（グローバル×ローカル）人材育成のための経営全般を学ぶのは勿論のこと、そこで「情報」を活用することができる人材を育てていることに大きな特徴があります。

このような内容を活かすのが、本学の教育力です。熱意ある教員、1年生からのゼミナール、寺島学長から直接指導を受けられる社会工学研究会、小規模校であるが故に一人一人が自分の存在意義を感じ、その他大勢として埋没することないような環境を提供していきます。私自身も「ベンチャー企業論」「経営組織」「経営管理入門」等の講義と演習指導を通じて、真摯な姿勢を持つ学生を育てることに心血を注いでいます。

学部長として、多摩大学、経営情報学部の発展に尽力する所存です。ご支援、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願申し上げます。

2023年度より新カリキュラム始動

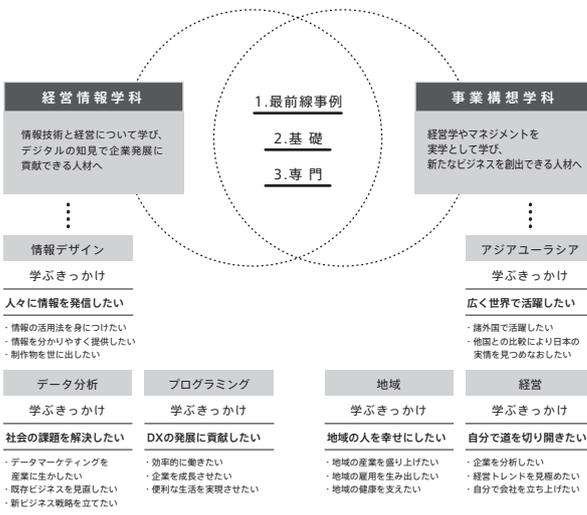
経営情報学部では、これまでもデータサイエンス（ビッグデータ、IoT、AI）や情報デザイン（マーケティング、消費者心理）を活用して社会に貢献する人材を育むことを目的とし、「グローバルビジネス人材」「地域ビジネス人材」「ビジネスICT人材」の3つの柱でカリキュラムを構成してきました。そして2023年度より、社会環境の変化やさらなるDX推進社会を踏まえ、新しいカリキュラムを導入いたします。

〈学びの特徴〉

- 4年間ゼミの強化：4年間をとおして、少人数制のゼミ教育を行います。1年次はプレゼミⅠ・Ⅱ、2年次から4年次はホームゼミⅠ～Ⅵからなる必修科目で構成されます。特定分野の専門教員によるホームゼミで学ぶことにより、より専門性を高めることができます。
- 基礎科目・専門科目の充実：1年次から卒業まで、体系的な学びを可能としました。1年次は基礎科目として「経営」「情報」「教養」等、2年次からの専門学修の礎となる知識・素養を身に付けます。2年次からは学科に分かれ、より専門的な分野「系」の科目を体系的に履修・修得することで、新時代のビジネスに必要な知識・スキルを磨きます。
- ジョブ型人材育成コース：ジョブ型人材育成コースは、高い専門技術を持ち即戦力として活躍できるとともに、就業後も常に学び直しをして自らを研鑽する素養を持つ人材を育成するための選抜コースです。

経営情報学部3つの柱

- 1. 最前線事例**  
最先端の人材による教育を通して、未来を見通す力を育む
- 2. 基礎**  
マネジメント、データサイエンスなど産業社会に必要な「経営」「情報」の基礎を広く学ぶ
- 3. 専門**  
産業社会との豊富な交流により専門性、実践力を獲得しDX推進社会やグローバル・地域社会に貢献できる人材へと育む



## 2023年度「マチカドこども大学」開校式

2023年4月22日(土)、小田急多摩線「栗平」駅北口広場において、多摩大学と小田急グループの小田急不動産株式会社が2023年度「マチカドこども大学」の開校式を行いました。

午前10時から始まった開校式には、多くの子どもたちと保護者が集まりました。また、遠方からの参加者もあり、こども大学について多くの関心が寄せられました。開校式の公開講座では、本学経営情報学部樋笠堯士専任講師が『ルールってなんで必要なの?〜ルール学〜』をテーマとして、実際に子どもたちにルールを作ってもらい、意見を出し合う知的好奇心を高める授業を行いました。約1時間の授業の間、子どもたちは活発に発言し、積極的に授業に参加していました。多摩大学からは、樋笠先生に加え、田中先生、新西先生、石川先生と樋笠ゼミ生9名が参加し、子どもたちと一緒にルール作りを行いました。今後本学からは複数の教職員が登壇する他、ゼミ生が授業に参加する予定です。



## 樋笠専任講師が出版記念トーク開催

経営情報学部 樋笠堯士 専任講師による著書『自動運転レベル4 どうしたら社会に受け入れられるか』(学芸出版社、2023年3月)の出版を記念し、2023年4月21日(金)、出版記念トーク(主催:シティラボ東京・株式会社学芸出版社)が、シティラボ東京(東京都中央区)現地およびオンラインにて開催されました。

2023年4月1日に道路交通法「自動運転レベル4(無人運転)」が施行されましたが、実際の導入には技術以外にも「運転手がいなくて事故の責任を負うのは誰か、AIにどの人命を優先させるのか、リスクゼロを求めるのか、人々が期待する安全性のレベルは?人が運転するより交通事故が減ればよいのか」など、多くの課題が残されています。本書籍は、レベル4が社会に受容されるための方策を倫理や法の分野から研究したものです。ゲストには日本で初めてレベル4を申請予定のBOLDLY株式会社代表取締役社長 佐治友基氏を迎え、多摩大学における取り組み、地域コミュニティバスのレベル4実証実験などを紹介するとともに、自動運転が社会に受け入れられるための課題、方策について議論しました。

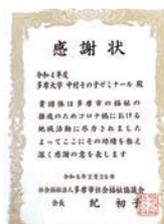


樋笠専任講師(正面左)と佐治氏(正面右)によるディスカッション

## 経営情報学部 中村その子ゼミに感謝状贈呈

2023年2月、経営情報学部中村その子ゼミに、社会福祉法人多摩市社会福祉協議会から福祉の推進のため、コロナ禍における地域活動に大きく寄与した功績に対して、感謝状が贈呈されました。

同ゼミは、令和4年度同協議会の広報誌「ボランティア通信」において「コロナ禍でも家にいながら楽しめる脳トレになる企画」を担当しました。



企画担当した中村(そ)ゼミメンバー

## 経営情報学部 彩藤ひろみゼミに感謝状贈呈

2023年3月、同学部彩藤ひろみゼミと濱大貴さん(令5卒)に対して、昭島市から「第52回昭島市産業まつり」のデジタルブースにおける「あきしまの水」を知り、体感できる仕組み作りにより大きく寄与した功績により感謝状が贈呈されました。メタバース・プラットフォーム cluster を活用した、昭島を感じるバーチャル空間「AKISHIMA Water World」を作成、協力したことで「あきしまの水」紹介サイトのアクセス数増加に貢献しました。なお、昭島市と本学は2018年から昭島市における産業振興計画の実行とさらなる地域の活性化に向け、大学生の視点や活動を取り入れる連携協定を締結しています。



濱大貴さん(右から2番目)、彩藤ひろみ教授(右端)

## 多摩キャンパス スクールバス乗り場に屋根を設置

この度、多摩キャンパススクールバス乗り場に屋根が設けられました。これにより雨の日や日差しが強い日にバスを待つ環境が整備されました。さらに夜間照明やユニバーサルデザイン設計のサポートベンチも増設しています。

なお、今回の新設に当たっては、ゼミ活動を通じた学生の要望・提案およびスクールバス実態調査を参考としました。



サポートベンチ(ユニバーサルデザイン設計)